

令和8年度 帯広第七中学校 学校経営方針

1 七中校区コミュニティ・スクールが目指す子ども像

『 ふるさとの功しを引き継ぎ、自ら未来を切り拓く子ども 』
ふるさとでもらった、身に付けた様々な良さや力など

2 学校教育目標

～ 生氣広野に充ちる北の大地に立ち ～

- 考えを深め、表現・創造する人間（知）
- 心豊かに、思いやりを実践する人間（徳）
- 自ら鍛え、たくましく生きる人間（体）

平成8年4月1日改訂

3 学校の使命

「この地の未来を担う人材の育成」

→ みんなの“ウェルビーイング”の実現

4 目指す学校の姿

- ・生徒が成長を実感し笑顔になる学校
- ・保護者や地域が誇りに思える学校
- ・職員がこの学校で働くことに喜びを感じる学校

5 重点目標

『 3E+3S 』 ～未来への土台～

3E：「 3つの笑顔 」

授業がわかる“笑顔”

学校が楽しい“笑顔”

成長が実感できる“笑顔”

3S：「 3つの想像力 」

相手の気持ちを“想像”する

次の展開を“想像”する

自分のこれからを“想像”する

6 生徒会目標<七中生としてのあたりまえの生徒像 H30 生徒会作成>

- 1 常に感謝の気持ちをもつこと
- 2 どの授業や取組でも集中すること
- 3 自分で学ぶこと／しっかり学ぶこと／よく学ぶこと
- 4 どんな時でも礼儀正しいこと
- 5 人に優しいこと／親切であること
- 6 どんな時でもやる気をもって取り組むこと
- 7 どんな時でもすばやく行動すること

7 教員の具体的行動指標

「3つの“き”」・・・ “期待する”、“機会を与える”、“鍛える”

8 学校課題

- ・ “自己肯定感”を捉えながら“成長を実感”できる全体指導、個に応じた指導
- ・ 学力の二極化
- ・ 学習習慣の定着（家庭との連携）
- ・ 「思考・判断・表現する力」の相対的な育成
- ・ “コミュニケーション力”（あいさつ、他者理解）の育成、充実
- ・ 柔軟性や持久力、体の動かし方など基礎体力の向上

9 学校経営の基本理念(CSとの関連)

1 生徒にとって「学びたい学校」

可能性が広がる（居場所が実感できる）授業・学級・行事・委員会・部活

2 保護者にとって「学ばせたい学校」

安全、安心が保障され、適切な情報開示が行われている学校

3 教職員にとって「働きがいのある学校」

認め、支え、高め合う関係性と笑いのある職場（すべては子どもたちのために）

4 地域にとって「なくてはならない学校」

地域社会の将来を担う人材を育てる中核としての役割を果たす学校

～ 学び続ける これからも この地で ～

10 推進計画

(1) 学校経営

- ① 学校経営方針及び身に付けたい資質・能力の明確化
- ② 一人一人が職責を果たす組織的な学校運営
- ③ 教職員の連携と「報告・連絡・相談」を密にした学校運営
- ④ 積極的な危機管理、安全管理
- ⑤ 生徒指導提要进行を核とした発達支持的生徒指導
- ⑥ 学校評価によるマネジメントサイクル PDCA サイクルの確立

(2) 教育課程

- ① 社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価
- ② 教育課程の目標管理，進行管理，内容管理
- ③ 目的に照らした教育活動の不断の見直し

(3) 学習指導

- ①授業改革・授業者の意識改革(各教科)
 - ・“協働的な学び”の推進、充実(ファシリテーターとしての授業づくり)
 - ・ICT活用(多様な活用場面)
 - ・個別最適な学びによる基礎学力の定着
 - ・主体的・対話的で深い学びの構築
 - ・学習評価(評価評定)の検証
- ②小中一貫・小中連携
 - ・エリア合同の3校授業参観週間の設定
 - ・教育課程の交流
 - ・小中間での授業支援(体育、外国語等)
- ③学習習慣の定着(家庭との連携・・・学習内容、学習量の管理)

(4) 道徳教育

- ①対話や議論から生徒の新たな気づきへ(交流だけで終わらない)
- ②体験的な学びを通し、芸術や文化に触れることにより豊かな心を育む
- ③全教職員による道徳授業の実践(道徳教材の蓄積)と評価
- ④自殺予防教育(命を守る授業、SOSの出し方)

(5) 特別活動

- ①生徒が主体的に取り組める環境づくり(組織的、発達支持的生徒指導)
- ②自己有用感を高める学級活動、生徒会活動、学校行事
- ③キャリア・パスポートの作成と活用(学活・総合・道徳等を含む)

(6) 総合的な学習の時間

- ①「おび学」(おびひろ市民学)を基軸とする総合学習
- ②地域の教育資源(人、もの、こと)の活用
- ③SDGs学習(多様性の理解)
- ④豊かな学びの充実(スクールラボ等の活用)

(7) 学級経営

- ①師弟同行
- ②よりよい生活や学習の在り方を追求した指導体制や指導連携の充実(アセスの活用)
- ③達成可能な目標設定と評価の連続
- ④保護者の理解と協力を得る運営の工夫
- ⑤3つの”き”を基本とした生徒の育成(支援)

(8) 生徒指導

- ①生徒指導提要の理解 L G B T Q に配慮した指導支援
- ②発達支持的生徒指導(指導から支援への転換)、共感的人間関係の構築
- ③自己決定(責任)→3つの”き”を基本
- ④自殺予防教育の推進
- ⑤学校いじめ防止基本方針の徹底

(9) 進路指導

- ①キャリア・パスポートの使用
- ②学校と家庭の連携強化（役割分担を明確に）
- ③自己の個性や能力・適正についての多面的な理解による「生き方」の指導

(10) 特別支援教育

- ①特別支援コーディネーターを中心に校内支援体制を確立し、すべての生徒が安心して学び、活躍し、成長できる環境づくり
【在籍生徒】
 - ・生徒の生徒一人一人の教育的ニーズに基づく力の伸長
 - ・関係機関との連携【在籍外（すべての）生徒】
 - ・授業のユニバーサルデザイン化
- ②合理的配慮に基づく相談機能の充実
- ③保護者や関係機関との連携と研修の推進
- ④教職員の支援教育への理解と資質能力の育成
- ⑤教育課程編成の適正な実施

(11) 研修活動

- ①授業実践を中核に据えた、日常の授業改善につながる組織的な研修の推進
- ②小中一貫教育に向けた取組の推進とコミュニティ・スクールの連携
七中校区小中一貫教育推進専門部会の設置と部会の実施
 - ・学力向上専門部会（令和8年度代表…帯七中）大正小→愛國小→七中のローテ
 - ・体力向上専門部会（令和8年度代表…大正小）愛國小→七中→大正小のローテ
 - ・生徒指導専門部会（令和8年度代表…愛國小）七中→大正小→愛國小のローテ
 - ・特別支援部会（令和8年度より生徒指導部会と併設）
- ③研修センター、研究所講座、各種研修会、公開研究会等への積極的な参加（1人1講座）
- ④人材育成・・・経験や年齢に応じたブラッシュアップ

(12) 健康安全教育

- ①体力水準の維持
- ②適切な食事、休養、運動による抵抗力の向上
- ③学校保健委員会の開催
- ④さまざまな感染症対応と防止の徹底
- ⑤ミサイル、危険動物への対応

(13) 事務管理

- ①公正で、正確かつ迅速で事務管理
- ②文書、備品等の適切な管理

(14) 家庭・地域社会・関係機関との連携

- ①地域や保護者に理解を求める授業参観や懇談会の開催（CSとの連携）

